

## 第3学年 国語科学習指導案

対 象 3年2組 男18名 女15名 計33名

指導者 藤原 裕美

### 1 単元名 れいをあげてせつめいしよう

教材名 「食べ物のひみつを教えます」(光村図書 国語3年下)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

これまでに教材文「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」を通して、段落や「始め」「中」「終わり」の文章の組立てについて学習してきた。「書くこと」の単元である「気になる記号」では、報告書の型に合わせて文章を書くことで、書く事柄や順序を考え文章を正しく書く力を身に付ける学習をしてきた。

本単元に関わる「書くこと」のCRTアシストシートを用いた調査では、次のような結果であった。

(H30年8月実施)

問題	正答率	誤答例
文末の正しい形	99%	
文のつながりを考える	48%	「なぜなら～からです。」という文の決まった形が分からない。
文章の並べ替え	33%	順序を表す接続語や指示語を理解していない。
目的に応じた文章の構成	33%	接続語から、前後の文章の内容を理解できていない。

上記の結果から、作成した調査カードをもとに文章構成を組立て、順序を表す接続語を使ったり指示語を使ったりしながら分かりやすい説明文を書くことができるようにしていく。

#### (2) 教材について

学習指導要領第3・4学年の内容「B 書くこと」(1)ウには「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」、そしてイには「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」とある。

本教材では、興味をもった食べ物を選び、図書資料を活用し情報収集を行い、「食べ物のひみつブック」を作成する活動を行う。「すがたをかえる大豆」で学習した文章全体の組立て方や分かりやすく伝えるための工夫を生かしてまとめていく。また、本教材は、1学期に学習した「気になる記号」と関連があり、その学習で報告文を書く際に「段落」や「まとめり」を確認して文章を書く活動をしている。その上で、図書資料から必要な情報を活用して文章を書いたり、分かりやすく説明する文章の書き方を学んだりすることができる本単元は、他教科にも生かせる単元である。

本教材の関連として、第2学年の「おもちゃの作り方」においては、順序に沿って構成する分かりやすい説明文の書き方の工夫について学習してきた。第4学年では、『クラブ活動リーフレット』を作ろうにおいて、段落相互のつながりや文章全体における段落の役割などについて考え、リーフレット作りに取り組むことを位置付けている。

#### (3) 指導について

本単元において設定する言語活動は「食べ物のひみつブックをつくろう」である。前単元である「すがたをかえる大豆」の読みで学習した説明の仕方を踏まえながら、題材として選択した食材がどのように「すがたをかえる」のかという、変化の広がりや変化の仕方を事例として明らかにした上で、説明する文章を書けるようにしていく。

学習活動に入るにあたり、作成した「食べ物のひみつブック」を家の人に読んでもらい、「へえ、なるほど。おもしろいね。」などと感想を言ってもらうために自分で説明文を書くことを伝え、目的

意識・相手意識をもたせる。

図書資料で、どのような工夫をして何ができるのかを調べ、分かったこと1つにつき「調査カード」一枚に書くようにする。そして、説明文作成にあたり、相手により伝わる文章を段階的に作り上げていく手立てとして、その「調査カード」を活用する。「調査カード」の取捨選択・並べ替えを行うことで、文章構成を意識して組立てを考えたり、推敲を行ったりする活動につながるのである。また、できた文章を読み合う活動を取り入れ、よりよいものにしていく時間も設定する。その中で、読み合うときの確認事項を確認しながら、付箋に「分かりやすく説明しているところ」と「アドバイス」を色分けして書かせるなどの活動を位置付けていく。

### 3 単元の目標

#### (1) 関心・意欲・態度

「食べ物のひみつブック」を作る活動に関心を持ち、食べ物について説明する文章を書くために、教材文や必要な資料を読み、それを生かそうとする。

#### (2) 書くこと

前単元の教材文の表現様式を生かし、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げながら、自分で収集した情報を関連付け、説明する文章を書くことができる。

#### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けることができる。

### 4 指導と評価の計画

次	時	主な学習内容	主な評価規準
小2		語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する。 【おもちゃの作り方】	<ul style="list-style-type: none"> <li>知らせたいことを、興味をもって取材し、文章にまとめようとしている。(関)</li> <li>構成を意識し、書く事柄や順序を整理して書いている。(書)</li> <li>句読点やかぎの使い方を理解して文章の中で使っている。(言)</li> </ul>
一	1	学習課題「食べ物のひみつブックを作ろう」を設定する。 「食べ物のひみつを教えます」の作例を読み、活動のゴールを確認する。 自分の調べたい題材を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもち、調べたい題材を決めている。(関)</li> </ul>
	2 3	自分の選んだ題材がどのように姿をかえるのかを調べ、調査カードにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物について関心を持ち、課題に合わせて調べようとしている。(関)</li> <li>本を読んで分かったことを調査カードにまとめている。(書)</li> <li>表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けようとしている。(言)</li> </ul>
	4 【本時】 5	調査カードの選択・並べ替えを行い、「中」の文章を書く。 「はじめ」「終わり」を書き足し、下書きを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>書こうとすることの中心を明確にして、適切な事例を挙げて説明しようとする文章を書いている。(書)</li> </ul>

	6	書いた文章を読み合い、より分かりやすい説明にしていく。	・書こうとすることの中心が明確になっているかどうか、適切な事例を挙げて説明されているかどうか気をつけて読み合い、よりよい文章にしている。(書)
	7	友だちにアドバイスしてもらったことをもとに、清書する。	・書こうとすることの中心を明確にして、目的や必要に応じて適切な事例を挙げて説明しようとする文章を書いている。(書)
三	8	学習を振り返り、分かりやすく説明するためのポイントをまとめ、今後どのように生かしていくかを考える。	・分かりやすく説明するための工夫について、学習したことをまとめ、これからの生活にどう生かすかを考えている。(関)
小4		書こうとすることの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書く。 【「クラブ活動リーフレット」を作ろう】	・分かりやすく説明するために、写真を選んだり、文章を書いたりしようとしている。(関) ・文章全体の構成を理解し、書くことの中心を明確にして書いている。(書) ・句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書いている。(言)

## 5 本時の指導

### (1) 目標

適切な事例を選び、書こうとすることの中心を明確にして、「中」の文章を書くことができる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	説明する順序に従って、調査カードの選択や並べ替えを行っている。
書く能力	書こうとすることの中心を明確にして、適切な事例を挙げて説明しようとする文章を書いている。
言語についての知識・理解・技能	句読点を適切に打ち、また、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めて書いている。

### (3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 前時の想起 ・「いろいろなすがたになる米」を読む。 2 課題の確認。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">「分かりやすく書くためのポイント」を使って、「中」の文章を書こう。</div>	●調査カードにまとめたことを確認する。 ●自分たちの書いた「食べ物のみみつブック」を家の人に読んでもらい、「へえ、なるほど。おもしろいね。」などと感想を言ってもらうために書くことを伝え、目的意識・相手意識を持たせる。 ●書き方を参考にするために、作例を声に出して読ませる。
展開 35分	3 解決の見通し ・教師が作成したモデル文から、本時のポイントをつかむ。 ① 一つの段落に一つの工夫について書く。 ② 段落のはじめにどんな工夫のことか、中心となる文を書く。 4 課題の解決 (1)一人一人が調査カードの選択・並べ替えを行い、「中」の部分を説明する順序を決める。	●不十分なモデル文を提示し、本時で気をつける点を焦点化する。 ●説明の順序は、自分で考えさせる。なぜ、そのような順序にしたのか、理由が言えるようにさせる。 ●複数の調査カードの中から、2～3つに絞らせるなど、そろえたい条件を伝える。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な調査カードを選ぶ。</li> <li>・調査カードの順番を決め、ワークシートに貼る。</li> </ul> <p>(2) 「今日のポイント」に気をつけて、「中」の部分の下書きを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調査カードの選択・並べ替えをしたら、「分かりやすく書くためのポイント」に気をつけて「中」の文章を書くことを伝える。</li> <li>●調査カードを並べて貼ったり、その調査カードに基づいた「中」の部分の下書きを書いたりできるワークシートを準備する。</li> <li>●「すがたをかえる大豆」を参考にさせる。</li> </ul> <p>◎書こうとすることの中心を明確にして、適切な事例を挙げて説明しようとする文章を書いている。</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>終末5分</p>	<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のポイントについて確認する。</li> </ul> <p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の下書きを読んで、「今日のポイント」を使った部分を確認する。</li> </ul> <p>7 次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」と「終わり」を書き足して、下書きを完成させることを予告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「分かりやすく書くためのポイント」をおさえながら、段落のはじめに中心となる文章を書くことができたかを、児童の文章を紹介しながら、全員で確かめる。</li> <li>●「今日のポイント」をおさえ、文章を書くことができたかを確かめる。</li> <li>●「中」の下書きに「分かりやすく書くためのポイント」を活用できたことを称賛し、次時への意欲を高める。</li> </ul>

(4) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○ 段落のはじめに中心となる文を書く。</p> <p>○ 一つの段落に一つの工夫を書く。</p> <p>○ 分かりやすく書くためのポイント</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>教師のモデル文</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>れいをあげてせつめいしよう 食べ物のひみつを教えます</p> <p>㊦ 「分かりやすく書くためのポイント」 を使って「中の文章を書こう。」</p> </div>
--	--	--